

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



客殿中庭より教祖殿記念建物を望む

(7月14日 撮影)

教祖130年祭に向かって

三年千日 さあ！ おたすけ  
祈る 動く つなぐ

立教177年  
7月号

各活動に

積極的な参加を!

縦の伝道講習会開催5・21

少年会

少年会笠岡団(武内正美団長)は5月21日、土佐剛直先生(少年会本部委員・撫養大教会長)を講師に迎え、大教会5月月次祭後に「縦の伝道講習会」を開催。役員・部内教会長・よふぼく・信者ら多数が受講した。

講習会を通し縦の伝道が教会活動の源となるよう開かれたもの。

土佐先生は、少年会本部の活動指針を基に「少年会の発足の意義、育成者の日々の通り方、態度を子供達に映し、信仰の喜びを伝えると共に、各活動への積極的な参加」を呼びかけられた。講話要旨は次の通り。

◎活動方針と三信条

少年会の活動方針は「ひのきしんの態度を映し、教えを実行する子供を育てよう」です。昨年、一昨年と同じで3年目です。

少年会員のちかいに「私は天理教少年会員です。教えを守り、ひのきしんに励み、互いにたすけあつて、立派なよふぼくに育ちます」とあります。

これは、よふぼくの三信条を基にお定め頂いたと聞かせて頂きます。○教えを守り——これは神一条の精神です。○ひのきしんに励み——ひのきしんの態度。

○互いにたすけあつて——一手一つの和です。子供に信仰を伝える上で欠かせないものはいくつもあるが、その一つは、家庭での親、即ち、育成する者が教えに則した生活や行動をして、自然に子供達を感化していくことが大切です。

改めて、よふぼくの三信条について考えてみたい。神一条の精神とは、私達が陽気ぐらしに向かつて歩みを進める物事のすべての判断が、親神様の思召しに添った、また教祖のお教え下さった、お通り下さったひながた通りに歩ませて頂くということです。

私達の信仰は、教祖ご存命ということが全てなのです。そして自分で感じとる努力をすることなのです。教祖のご存命と、その教えがお道の信仰の命といっても過言ではありません。もし、ここに教

祖が居られたら、何と仰るか、どの様なさるのか、ということを考えて行動することが大切だと思えます。

その気持はどの様にしたら持てるのか、どの様にすればその気持になれるのかと考えた時、多くの場合、自分にとつての辛かったり、悲しかったりの体験を通して感じる事が出来るのではないかと思います。

子供達に信仰の喜びを教える上に、これは非常に大切だと思う。

◎「逸話篇」に学ぶ

逸話編を読ませて頂くと、子供でも実践出来る事が数多くあります。たとえば「一に愛想」112、「おいしいと言うて」132などです。

私達が普段生活する中で、さまざまな物事の判断をする時に、どうもこれは世間の常識というものであったり、人がどの様に見ているとか、世間体というものゝを気にして、損得というものゝを判断の基準にしていることが多いと思う。教祖のお教え下さったこと、また、ひながた、親神様の思召しは何かという事をしっかりと伝えさせて頂かなければならな

<実行目標>人のたすかりを願ひましよう



おたすけ・お願いカード 集計：36,020枚

平成26年5月21日～6月20日

累計：327,526枚



い。これが神一条です。

私達は教祖のひながたを歩ませてもらわなければならないのです。そして、その姿を子供達に正しく映していくことが大切だと思うのです。

### ◎子供達は私達を見ている

子供達は私達の姿を見て育っています。子供達を間違いない、教祖のひながたを歩めるよふほくに育てるためには、またこの様に育つて欲しいと思う時、まず私達自身がその様な歩み、そしてひながたの実践をして、その範を示すことが必要です。信仰的なことも躰にしても同じだと思います。

### ◎ひのきしんの態度

2代真柱様は「神一条の精神が、ひのきしんの態度となって現われてくる。ひのきしんは、これをしなければならん、これだけのことをしなければならん」ということはありません。しかし、気をつけねばならないことは、骨惜しみをしないこと」とお話し下さっています。

ひのきしんの一番大切なことは「みかぐらうた」にあります様に、欲を忘れることです。自分の本心、真心からの行動を、親神様の思召しに添う様な行動にすることと思うのです。ひのきしんの態度を子供達に映すことは、まず私達育成会員がしっかりと教えて実行することです。手本を見

せて導く私達の姿、私達の存在そのものが、子供達が教祖のひながたを歩む手本となる様、努力しなければなりません。

### ◎親子というもの

しかし、私達は育成会員、よふほくとして子供に手本を示す親である一方、親神様・教祖から見ればまだまだ未熟な子供です。親が子供を育てる時には、それぞれの子供にふさわしい育て方をすると思うのです。子供もそれぞれに成長の度合いが同じではありません。心の持ち方が違うから、信仰的な成人も同じです。成人出来る様にと身上事情を通してお知らせ頂きます。食べ物にたえても、好き嫌いがありません。親としては嫌いな物でも、必要な物であれば食べやすい様に工夫します。親心です。

お道の教えの中で、神様と人間の関係を親子という言葉でお教え下さったことが、本当に有り難いと思います。

現実に子供を育てていく中で、成長していくと、自分の考え方が先になってきます。親の言うことが聞けなくなってくる。時には自分の考え方が正しいという風になってくる。そうした中で、信仰の喜びを伝えるのは簡単なことではありません。

前真柱様が、以前、こんなお話しをして下さっています。

「未熟な者が、未熟な者を育てていかなければならないのです。知恵や力や物があっても未熟な者が、未熟な者を育てるということは出来ない。私は考えます。まだまだ自分自身も未熟な一人として、自分自身も育つ努力をして頂きたいのであります。させて頂きたいのであります。自分自身が育つ努力をすることが、ひいては、さらに私達より小さな子供達を育てる結果になるのであります。」

### ◎少年会の意義

2代真柱様は「縦の伝道の主軸である親が、横の布教で忙しい時には、その縦の伝道のみに従事出来ないのが、よふほくとしての親のあり方である。その皆の力で補っていくところに少年会の問題が生まれてきたのであります」とお話し下さっています。

子供に信仰の喜びを伝えるということ、将来、立派なよふほくになるための基礎作りをする、そういうことを目的に少年会というものが作られたのです。その目的を現実のものにしていくために、それぞれの教会に隊といったものが置かれる様になりました。

### ◎教会の充実は少年会から

昭和44年3月、少年会第2期委員会が発足した

**有志ひのきしん隊  
実施  
青年会**

青年会有志ひのきしん隊は、5月16日に八尋分教会(広島県福山市)に出勤し、9名が参加した。教会近隣の竹やぶにて伐採などを行った。また、6月15日には、皆部分教会に出動。5名が参加し、教会敷地内の除草を行った。



5月 八尋分教会



6月 皆部分教会

時、前真柱様から「教会の充実は、むしろ少年会の各隊の実働充実から御守護頂きたい。少年会から賑やかな教会をご守護頂くんだということを、これから念頭においてお励み頂きたい」といったお言葉を頂きました。

そして、隊活動の方向性をはっきりと示していく様になってきたのです。

少年会の活動方針に加え、講習会、研修会を通して育成者の成人。教会おとまり会の実施。支部ひのきしんへの親子参加。リトルマガジンの子供達へ——の4つの実施項目を加えました。

これは、出来る所だけやっつけたいというのではなく、全隊、全教会の動きにして頂きたいのです。

研修会は、少年会を終えた全ての人が育成者としての意義を持つてもらって、縦の伝道を進めて頂きたいのです。

教会おとまり会は、教会で会長さん家族と一緒に過ごし、教会の姿を体験することで、子供との絆が結ばれ、将来の種まきとなるものです。

支部ひのきしん参加は、所属教会があっても遠くてなかなか行けない。参加しやすい自分達の住んでいる支部での活動に親子で参加して頂きたいのです。

リトルマガジンを子供達へは、子供と教会をつなぐ、また、親神様・教祖とのつながりを深めるもので、どこの教会でも出来る少年会活動だと思

います。

最後に「こどもおちばがえり」について、これは行事に参加することが目的ではありません。将来、立派なよふぼくに育てたい子供達に親神様・教祖の思いを体験させて、それぞれの教会につながってもらおう絶好の機会だと思っております。そして参加がゴールではなく、終わった後に間をおかず声をかけて頂き、教会の常時の活動にして頂きたいのです。

子供達の笑顔は私達のエネルギーになるので、それぞれの教会、またお道に繋がる家庭にエネルギーが満ちあふれるご守護を頂きましょう。

《以上要約》



折り紙を楽しむ少年会員

少年会笠岡団(武内正美団長)では、6月の大教会祭典終了後、テッチャンシアターをさせて頂き

「**テッチャン  
シアター**」開催  
6・21  
**少年会**

ました。今回の企画は森本忠善副団長による折り紙に挑戦しました。

一つ目は猿の木登り(それとなく立派に木登りをしていくように見える)。二つ目は筒型の飛行機(飛ばすのではなく、上から自然に落とすような感じ)を折りました。先生の熱心な御指導のもと、少年会員や育成会員も興味津々に取り組み、参拝場が一時折り紙教室へと様変わりする雰囲気になりました。親子が一つのものを作ることを通して情緒あふれる心が育まれるような思いが致しました。その後、教えの角目について分かりやすく丁寧にお話下さり、終了しました。

来月も開催する予定ですので、是非、家族連れで御参拝下さい。ありがとうございました。

(少年会 藤井保人)

**詰所看板取り付けひのきしん  
こどもおぢばがえり用**

去る6月22日に「こどもおぢばがえり」実行委員会(佐藤道孝委員長)は詰所看板設置のひのきしんをしました。前夜から降り始めた雨も朝には止んでくれると思いきや、作業をする頃には一段と雨脚が強くなり心配しましたが、いつものメン



こどもおぢばがえりの看板作り

バーに加えておぢばで伏せこみ中の青年会有志が大活躍してくれたお蔭でけがもなく無事、昼前には完成しました。今年も新しくお目見えの看板があります。どうぞお楽しみに、大勢のこども達とおかえりください。ピッキーもリニューアルしてみんなをお迎えしますよー。なお、毎年ノースアメリカの佐藤さんには忙しい中、親身にお手伝い頂いております。ありがとうございます。(感謝!!)

(中島誠治 実行委員)



全教野球大会出場メンバー

7年連続で全国大会へ！  
全教野球大会 岡山教区予選

笠岡ワールド  
ブラザーズ

第41回全教野球大会岡山教区予選が6月28日、芳井運動場で開催され、笠岡ワールドブラザーズ(北川勇治監督)が予選に挑んだ。予選は笠岡(大)、東備(分)、支部合同の3チームのトーナメント方式で行われた。笠岡は抽選によるシードのため、第1試合の勝者、支部合同(岡山東・東部・倉敷)と決勝で対戦する事となった。支部合同は、数年前に発足したものの、毎年力をつけてきているチーム。試合は、初回にお互いに1点ずつ取り合い、その後、幾度も笠岡がピンチを迎えるものの、エース枝廣大樹が粘りのピッチングを見せた。両者譲らず1対1のまま迎えた4回ウラ、笠岡は上位から始まる打順で、3者連続の長打が飛び出し一気に勝ち越し。その後の回も小刻みに得点し、結果7対1で勝利した。笠岡は、7年連続で全教野球大会(10月28〜30日・親里)への出場を決めた。

こかん様に続く会 開催

6月28・29日

女子青年

今回、6月28・29日、こかん様に続く会をお召し合わせさせて頂きました。初めは十三峠越えを企画していましたが、25日の朝支部長様より前真柱様お出直しの連絡を頂き、ご発葬が28日という



おぢばに集う女子青年

ことで急遽予定を変更して当日は発葬の儀から参加させて頂き、前真柱様のご発葬を女子青年、担当者共々に見送らせて頂きました。その後の予定も急遽組んだものでしたが、少しズレはあったもののそんな大きな変動などもなくスムーズに進め

バタバタしながらも有意義な時間が過(こ)せたと、自分でも思う事が出来ました。2日目の支部長様のお話では、前真柱様のことについて少し話されていました。どれだけの優しいお心遣いを頂いたこと、こうして十三峠をやめてまでご発葬を見送らせて頂くことの尊さ、涙を流しながらお話しさしました。その後の茶話会では、こうしておぢばに帰ってこれた事の有り難さ、日々の生活の通り方についてなど、様々な話が女子青年達の中から出ていました。この2日間、天候にも恵まれ、急な予定の変更にも関わらず無事何事もなく通れた事は親神様のご守護と担当の奥様を始め、たくさんの方々のご助力のおかげだなあと感じさせて頂き、この場を借りて今一度感謝致します。ありがとうございます。

(参加人数 女子青年20名、婦人会7名)

(女子青年部委員長 上 原理 子)

## 「高屋にをいげ実働」実施

6・23香地華分拠点に

高屋分

高屋分教会(武内正美会長)では6月23日、香地華分教会(武内清和会長 福山市山野町山野)を拠点に「高屋にをいげ実働」を行い、20人が参加

した。

教祖130年祭、三年千日活動2年目の本年、大教会からの「毎月23日は笠岡にをいげデー」という活動指針を受け、高屋分教会では直轄教会を拠点に、1月から毎月23日を「高屋にをいげ実働日」と定め、神名流し、戸別訪問などを行っている。

当日は午前9時半、同教会に集合。参加者全員で「天理王命」の幟を先頭に、拍子木を入れて教会周辺で神名流しを行った。静かな山間の地に勇んだ神名と拍子木の音が響きわたった。

引き続き、車で福山市加茂町内に移動。戸別訪問、リーフレット配布をし11時半に終えた。

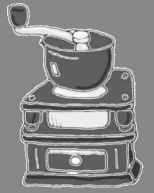
「山野という山間部でも大教会の活動方針の一つを多くの人たちが参加して下さり実践させて頂けたことは有り難く、これまで『にをいげ実働日』に参加し

て神名流しをすることにより勇み心が起き、今回も参加して下さった人もいます。にをいげ実働は勇みの糧になる」と武内同分教会会長は話していた。



山間の地に勇んだ神名が響きわたった

# 談話室



## おやさとふしん

### 青年会ひのきしん隊第80回隊

明石市分教会 杉原 善朗

青年会笠岡分教会では、六月におやさとふしん青年会ひのきしん隊に12人で入隊。牛込分教会との合同班でおちばでの尊い御用に勇んだ汗を流した。

今年には教祖百三十年祭三年千日の二年目、ひのきしん隊六十周年のこの絶好の旬になんとか心定め二十人での入隊を目指すも、申し訳ないことに12人での入隊となったが、この度も暑い熱い隊期を過ごさせて頂いた。

— 少しばかり記憶に残っていることを・・・  
今年のひのきしんは六十周年のスペシャル感を感じさせる現場ばかりで、一日目のパレード・スタンド設営から、白川で杉の枝打ち、田植え(お約束のもちろんドボンあり)まで。

また有志二人でにをいがけに出ようと思えばいつの間にか七人に！小雨の中、勇んで神名を流していると栄養ドリンクの差し入れを頂いてテン

ション上がった！あ、かわいい女の子からでした！教祖ありがとうございます！その日以外にも何度か二、三人で天理駅前布教に出させて頂いたが、おたすけスイッチが完全に入ってしまった憩いの家におさづけの取次ぎに向かうあらかきというの姿も見られた。

回廊拭きでは、終了後に立ち上がることが出来ないぐらいの気合で臨む猛者も登場！ゴールで倒れ込む姿はやりきった漢の哀愁が・・・

にをいがけの日には恐怖感(?)を感じさせる程の勢いで戸別にまわる者や、向こう三年分の回数に値する路傍講演に挑む者まで、教祖への御供に勇んで歩かせて頂いた。

休養日には中席を運ぶ者、ようぼくの集いを受講する者、また熟練の会長様方の指示のもと、こどもおちばがえりの看板取り付けに精を出した！  
感話大会では大教会青年中のサム君が弁士に登場し信仰の話もしっかりしつつ、その日一番の爆笑もゲットしていた。

—と、それぞれ一歩も二歩も成人できた隊期であつたように思う。

最終日にはある会員から「来年も入隊します！」との力強い声も聞かせて頂き、勇みの止まらない隊期であつた。

年祭活動後半、たすけの渦を巻き起こすべく、前へ前へ！活動を推し進めたい！

## こころの詩

笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されていましてので転載させて頂きます。おめでとうございます。

▼天理教道友社発行『天理時報』より転載

▽6月22日付「時報歌壇」

・芦品分教会教人 金谷眞佐代さん

初めての年金もらい感謝こめ

親神さまへ御供えをする

・海松ヶ岡分教会 池田広子さん

国道を連なりてゆくバイクには

髪なびかせる女人もまじりて

・海松ヶ岡分教会 藤井光子さん

「希望」という花言葉もつガーベラを

孫の門出に三本求む

▽6月29日付「時報俳壇」

・海松ヶ岡分教会 池田広子さん

厨にて梅漬ける今日梅雨入かな

・海松ヶ岡分教会 藤井光子さん

更衣してイヤリングつけてみる

▼養徳社発行『陽気』誌七月号、「道柳」より転載。今回の課題は「治」。

▽佳 詠

・東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん

如何なるも眞実誠理で治め

## ▼表紙写真

(吉岡輝昭かさおか編集部員)



## <年祭活動推進委員会>

### ○かさおかにをいがけデー強調日

期 日 9月23日(火)

### ○若人のつどい

日 時 11月23日(日) 9:15 受付 9:45 開講式

第一部 10:15~12:00

・講話 講師:中山仁氏

・働くようぼくさん紹介(笠岡内のようぼくをビデオで紹介)

第二部 12:00~15:00

・ふれあいクッキング

## <布 教 部>

### ○布教推進強調月間

・全教一斉にをいがけデー 9月28日(日)~30日(火)

・全教会長路傍講演日 9月28日(日)

全教会長の参加を。

・布教部員にをいがけ活動 9月22日(月)~23日(火)

笠岡部内を拠点にして活動

### ○ひのきしんスクール

コース カウンセリング ~聴くことの大切さ~

期 日 8月26日(火)・27日(水)

会 場 おやさとやかた南右第2棟3階

対 象 ようぼく

受講御供 1,500円

締切日 8月15日(木)

※詳細は<http://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/?p=2831>を参照

### ○ひのきしんスクール シンポジウム

テーマ カルト事情が語りかけるもの……カルト事情から思案できる家族や教会のあり方

日 時 9月25日(木) 13時~16時半

会 場 陽気ホール(おやさとやかた南右第2棟4階)

対 象 ようぼく

定 員 300名(定員になり次第締め切り)

参加費 無料

## <管 理 部>

### ○お盆前の墓地清掃ひのきしん

日 時 8月10日(日) 午前9時 現地集合

※草刈機があればご持参ください。

## <育 成 部>

### ○よふぼく勉強会

日 時 8月21日午後1時15分~2時

テーマ 八つのほこり

講 師 吉 岡 貞 彦(芦田川分教会長)

## <青年会>

### ○立教177年 あらきとうりょう入門塾

日 時 平成26年8月15日17時 集合 ~ 16日昼食後 解散  
場 所 笠岡大教会  
対 象 高校生年齢層(青年会員も可)  
内 容 青年会の活動紹介、ひのきしん、バーベキュー、親睦行事など  
持ってくるもの 着替え、洗面道具 など(参加費 なし)  
ひとりでも多くお誘いの上、参加をよろしくお願いします。  
担 当 枝廣正寛(Tel 090-9732-6576)

### ○たすけの渦を巻き起こそう推進のつどい

期 日 9月7日(日)  
内 容 派遣委員のお話、にをいがけ等  
派遣委員 中山正直青年会本部委員長

## <少年会>

### ○第42回少年会員雅楽勉強会

期 間 8月16日(土)~18日(月)  
会 場 本部第12母屋  
受講費 2,500円

### ○テッチャンシアター

日 時 8月21日(木) 祭典終了後

### ○笠岡団キャンプ(詳細は次ページ)

期 間 8月22日(金)13時 集合 ~ 24日(日)14時半 解散  
会 場 笠岡大教会  
参加費 1,500円

### ○テッチャンと遊ぼう(わかぎのつどい)

日 時 9月21日 13時半 受付 14時~16時まで

---

## 第881期修養科募集要項

### \*修養科期間

立教177年9月1日~11月27日

### \*教 養 掛

3ヶ月間	吉 岡 誠一郎	(大教会准役員・興明分教会長)
1ヶ月目	三 代 信 行	(米美分教会長)
2ヶ月目	枝 廣 隆 文	(東福山分教会長)
3ヶ月目	猪 原 啓 介	(門司港分教会長)

### \*募集要項

- ・志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
  - ・8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
  - ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日午前10時に解散。
-

天理教少年会笠岡団



# サマーキャンプ



**参加者大募集！！**

8月22日(金)～24日(日) 2泊3日

☆集 合 8月22日 午後1時

☆場 所 笠岡大教会

☆内 容 クラフト、野外ゲーム、キャンプファイヤーなど盛りだくさん

☆持 参 品 保険証のコピー、着替え、長袖シャツ、長ズボン

靴下(足首が隠れるもの)、洗面具、帽子、水筒、軍手、懐中電灯  
雨具、筆記用具

※サンダルはダメです

☆対 象 者 少年会員(小3～中3)

小3以下の場合にご相談ください。

高校生以上は育成係

☆定 員 40名

☆参加御供 1,500円 米3合 果物缶詰1缶

☆申 込 先 各教会または大教会

☆× 切 8月15日



# 教会別人づくり一覧表 (立教177年1月1日より 立教177年6月30日まで)

名称		初席	授訓	三日講習	修養科	教員講習	教員登録	会長格定	名称	初席	授訓	三日講習	修養科	教員講習	教員登録	会長格定	名称	初席	授訓	三日講習	修養科	教員講習	教員登録	会長格定
笠福高神島久鶴弥陽摩金興ひろさ陶芳呉海東吸照輝新皆明上府東服島驛油葦湯備神美錦笠	岡山屋邊根松山山備耶浦明と山井照岡悠江陽濃邑部市下市城部中家木陽原中昭郷備晴	1	4				1		福春中土東山南順節備輝	1							新輝豊		2					
		2	1						福富福福東福福福福福								田川津山川浦北東	1	1					
		2							福福福福福福福福								出雲場ノ古							
		1							福福福福福福福福								天簸多瑞雲							
		3	1						坪八深笠芦安芦三芦芦恵陽御香真仲稻稻富司恵水児	1							神呉江	4	3					
		1							田川郡常茂陽實野華金條倉瀬土讚港山島丸	1							神大品久久呉	1			1			
		4	1						加地	1							鶴川島							
		3							地	1							川島							
		1	1						香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		2	1						香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1	1						香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1	1						香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1	4						香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1	1						香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児								川島							
		1							香真仲稻稻富司恵水児															

## 六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には「月日にハセカイぢううハみなわが子かハいいハばいこれが一ちよ」と親心一杯の御守護を賜り お育てお導き下さいませ事は誠に有難く勿体ない極みでございます

しかるにその親心を知らず 我身勝手の心遣いや自分さえ良ければの心遣いによつて身上や事情に苦しむ人が多くなっています事は誠に残念でなりません 私共は「月日にハセカイぢううハみなわが子 たすけたいとの心ばかりで」との親心にお応えしたいものと二元の理やかしもの御教へ十全の守護や八つのほこりの説き分け等を一人でも多くの人に伝えるべく 日々は朝に夕にと御礼申し上げつつ たすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は これの名称の理にお許し下さいました御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 日頃の喜び感謝とたすけ心も一人に明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりをつとめて 六月の月次祭を執り行わせて頂きます

御前には三万六千二十枚のおたすけお願いカードと共に 今日の日を待ちわびて寄り集いました道の子供達が 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げます たすけ心の真実をお受け取り頂きたいと相共にお歌を唱和する状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて先月二十五日には七百人余りの参加者で別席ひのきしん団参をさせて頂きました 昨年より多くの別席者をお与え頂き共々にひのきしんの汗を流しつつ 年祭に向けての成人を誓い合う事が出来ました 誠に有難うございました

又三月より開催されております教祖百三十年祭ようぼくの集いも今月いっぱいまで終わりとなります 未だ参加されていない人への声掛けを更に強めると共に 参加したらそれで良しとするのではなく 一人一人が年祭活動の主役との自覚を持ち 尚一層年祭活動を活発に推し進めて行かなければなりません その為にも本年上半年期の終わりに当たり 成人目標をしっかりと見直し 心も新たに積み重ねの年にふさわしい年になるよう 成人の歩みを進めて行く所存でございます

更には又 個々の成人の歩みに加え道の後継者を育てるべく本日は祭典に引き続き 学生層育成者講習会を開催させて頂きます 若者の信仰離れが懸念されていますが 多くの若者が心の拠り所を持たず先の見えない不安を抱えている現実をふまえ 講習会を通して育成の重要さを改めて認識し 丹精の上に力を注いでいくべく 学生生徒修養会や子供おぢば帰りひのきしん等への参加呼びかけをして行きたいと存じます 加えて婦人会は二十八、二十九日と小寒様に続く会を開催 そして子供おぢば帰り等を通して 道の後継者育成に繋げて行く所存でございます

何卒親神様には年祭の旬に込められた親の思いを胸に たすけ一条の成人の歩みを邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に親心一杯の自由の御守護を賜り 親心に触れ一列兄弟の理に目覚める人が増え 互いにたすけ合う神人和楽の世の状に 一日も早く立て替わりますよう御守護お導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



# 登殿参列

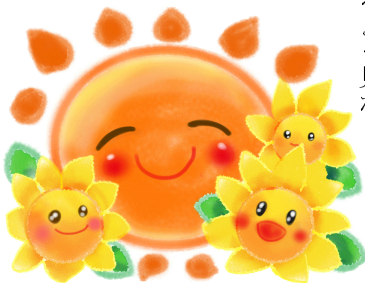
◎第6回 立教177年6月26日

内海安子(島中)、三嶋正教(笠尋)、藤本芳久(東水島)、瀬良善彦(高見島)、森川弘志(弓ヶ



第六回 登殿参列

夏の花といえば「ひまわり」花言葉は「愛慕」である。太陽の動く方向へその顔を向けるけなげな花。キク科で原産地は中央アメリカである。私は特に花などには興味はないのだが、最近「ひまわり」をよく見かけるので、少し「ひまわり」について調べてみた。なぜ「ひまわり」は、太陽の方を向いて回るのでしょう？日陰にあたる茎の部分が、日なたの部分より早く成長するので、太



く、太陽、水、そして大地の恵みを受けている。同じ恵みを戴く物、運命は一つであろう。今、気象変動・自然災害・生態系異変など環境問題を考えなければならぬ時代を迎えている。言い換えれば、天の恵みを考えなくてはならない時と言える。人間が自然環境を変えていくところが大きいであろう。植物たちは、そんな人間に優しくメッセージを送っているのではないだろうか。(は)



(濱)、本多正悟(西伯)、三代信行(采美)、川上道美(伯仙)、雑賀元生(照雲)、岩崎光生(樺島)、塩田能往(新輝豊)、下田誠輝(神村)、下田章(呉中)、村川和司(大江橋)、渡邊孝信(神驛)。

陽を追いかけるように回るのだそうです。又「ひまわり」の種には心臓の動脈硬化を防ぐ働きがあり、花びらもお酒にひたして飲めばストレス解消に効く。ついでに茎も混ぜると頭痛を治し、解熱作用もある。正にすぐれた薬草である。

## ・原・稿・募・集・

**内 容** ①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事等々

**字 数** 1000字前後(800字~1200字) 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。俳句等は一句からでも結構です。

**寄稿先** 下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377  
 FAX：0865-66-1314  
 メール：[tenkasa@yahoo.co.jp](mailto:tenkasa@yahoo.co.jp)

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



昭和45年 (1970年) 立教133年	昭和44年 (1969年) 立教132年
<p>4. 10 移転地地質調査ホーシング</p> <p>4. 26 工事手のための最終決定会議</p> <p>5. 26 笠岡大教会建築模様替お許し</p> <p>6. 1 神殿建築起工式挙行 (二百五十人)</p> <p>7. 10 現場工事始まる</p> <p>8. 1 神殿棟基礎コンクリート打開始</p> <p>8. 3 一手ふしん特別巡教 (九月まで)</p> <p>8. 27 三代会長、岸本敏明常任委員、夏井大木組現場所長を帯同し建築用材台湾樺購入のため中華民国台湾へ出張</p> <p>9. 8 移転地東南の用地借用契約締まる</p> <p>9. 20 一手ふしん青年大会 (八百人)</p> <p>10. 1 庭園工事着手</p> <p>10. 5 客殿・会長宅棟基礎コンクリート打開始 神殿式階部分コンクリート打開始</p> <p>10. 20 教職倉棟基礎コンクリート打開始</p> <p>10. 21 第一回総出ひのきしん (二百人)</p> <p>11. 9 建築用材台湾樺第一便到着</p> <p>12. 1 移転地東南部山林購入 (二千九十七坪)</p> <p>12. 19 東南部の用地の土地造成完了</p>	<p>1. 21 大教会世話人・井筒敏太郎、移転地視察</p> <p>4. 25 最終設計図面決定</p> <p>6. 22 移転地宅地造成工事着手</p> <p>6. 26 北側山林部分からの採土による平地造成及び下段駐車場部分の地上げ (五メートル) 並びに参道の最終的造成</p> <p>6. 26 笠岡大教会移転建築お許し</p> <p>鎮座祭 昭和四十六年十一月十日</p> <p>奉告祭 昭和四十六年十一月十一日</p> <p>旧所在地 岡山県笠岡市笠岡五〇七七番地</p> <p>新所在地 岡山県笠岡市用之江三七七番地</p> <p>7. 1 三代会長、岸本敏明ふしん常任委員、建築用材の台湾樺購入交渉のため中華民国台湾へ出張</p> <p>10. 20 移転地北側の山林三百六十坪追加買収</p> <p>10. 21 第四回ふしん実行委員会開催 最終図面並びに工事概算額発表 着工に向け心構えをねり合う</p> <p>12. 3 一手ふしん特別巡教始まる (昭和四十五年二月まで)</p> <p>1. 6 上段下段の落差部分の石垣みだれ積工事開始</p> <p>2. 18 移転地宅地造成完了</p>